

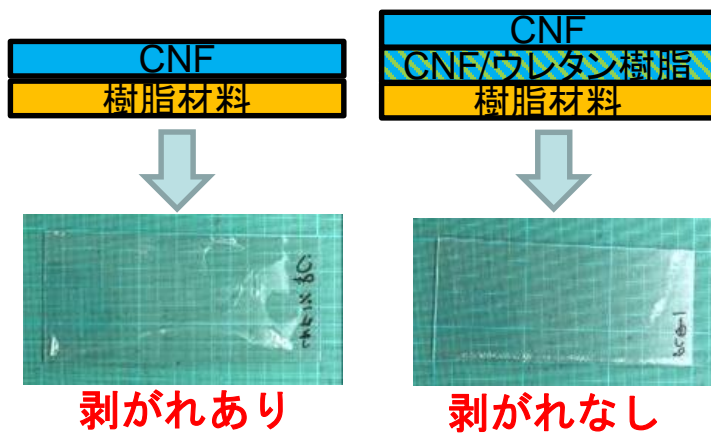
セルロースナノファイバーを用いた曇り止め技術

— 樹脂等の表面処理技術に関する研究（H30～31） —

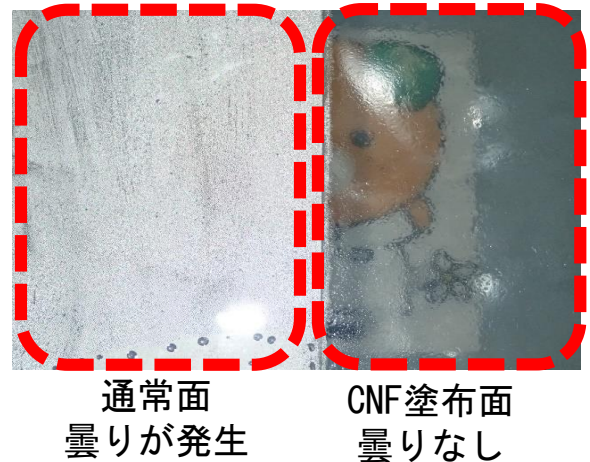
愛媛県産業技術研究所 技術開発部 研究員 續木 康広

セルロースナノファイバー(CNF)は、樹木等を原料としたナノファイバーであり、特に繊維幅が微細なものは透明材料となることが知られています。本研究では、CNFを樹脂と複合化し、塗工することで、防曇剤（曇り止め）としての利用を検討しました。

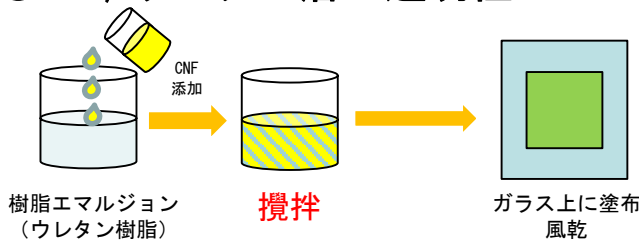
○樹脂へのCNF塗工



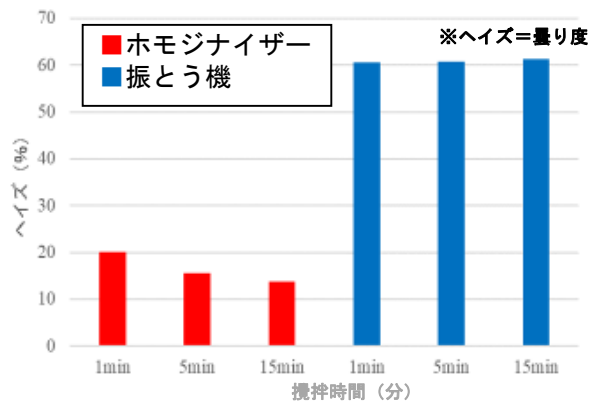
○曇り止め評価試験



○CNF/ウレタン層の透明性



・強い力（ホモジナイザー）で、攪拌時間を長くすることで、透明度が高くなりました。



ホモジナイザー 1min	ホモジナイザー 5min	ホモジナイザー 15min	振とう機 1min	振とう機 5min	振とう機 15min

CNFと樹脂材料の間に、CNF/ウレタン層を挟むことで、樹脂表面に透明なCNF層を形成することができました。

CNFを塗工した樹脂表面には、防曇効果（曇り止め効果）が確認されました。